

平成30年度 第1期

## 清川泰次 色と色のハーモニー

会期:2018年4月3日(火)–8月26日(日)

入場者数:1,309人

担当者:樋口茉呂奈

静岡県浜松市に生まれた画家・清川泰次(1919–2000)は、初期には具象的な作品を描き、二科展や読売アンデパンダン展などで活動していたが、1950年代の渡米を機に、本格的に抽象表現へ移行した。アメリカから帰国直後の50年代後半には、様々な色の線と面が複雑に交錯する作品を多く描いたが、その後、1963年から66年まで再び渡米すると、清川の描く画面は、次第に白を基調としたシンプルなスタイルへと変化していった。その後、晩年の1990年代には、再び色彩豊かな作風となり、線、色、かたちの構成により創り出される美を模索した。

本展では、初期から晩年までの作品10数点を展示し、スタイルを変化させながら、ものの形態を写すことに捉われない独自の抽象表現を探求した清川による、色彩の変遷を紹介した。

### 出品目録

#### <大展示室>

No.	作品名	制作年	材質、技法	縦×横(cm)
1	行人	1951	カンヴァス、油彩	65.1×50.0
2	ブルジャンブルーの中に	1953-54	カンヴァス、油彩	63.3×75.7
3	赤でおおわれた	1959	カンヴァス、油彩	106.0×60.6
4	むらさきの絵-63	1960-63	カンヴァス、油彩	97.0×162.0
5	紫と黒の作品	1960	カンヴァス、油彩	106.0×106.0
6	黄色の浮遊	1961-63	カンヴァス、油彩	53.0×45.0
7	コーラルレッドの四角作品-62	1962	カンヴァス、油彩	53.0×53.0
8	Painting No.NY1766	1966	カンヴァス、油彩	106.0×147.0
9	白の世界 F6-73	1973	カンヴァス、油彩	41.0×32.0
10	Painting No.381-B	1981	カンヴァス、油彩、アクリル	72.7×91.0
11	Painting No.1083	1983	カンヴァス、アクリル	130.0×97.0
12	Painting No.394	1994	カンヴァス、アクリル	72.7×90.9
13	Painting No.3196	1996	カンヴァス、アクリル	72.7×60.6
14	Painting No.1095	1995	カンヴァス、アクリル	53.0×45.0

#### <小展示室>

15	Painting No.994	1994	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8
16	Painting No.2196	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8
17	Painting No.2396	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8
18	Painting No.2496	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8

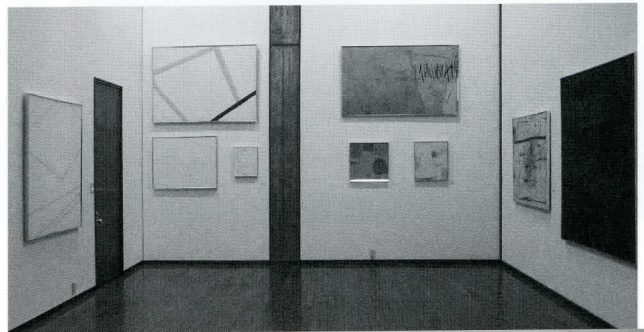
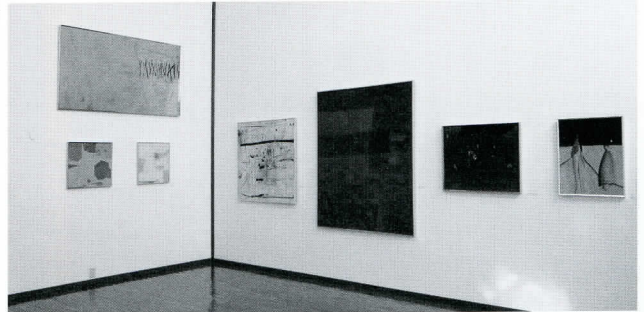


B3ポスター



A4チラシ

展示風景



### 関連企画

5月19日(土) 11:00-

担当学芸員によるギャラリートーク

講師:樋口茉呂奈(当館学芸員)

参加者数:12人

7月28日(土) 11:00-

担当学芸員によるスライドレクチャー

講師:樋口茉呂奈(当館学芸員)

参加者数:17人

## 清川泰次 昭和の学生旅行

会期:2018年9月8日(土)–2019年3月17日(日)

入場者数:1,564人

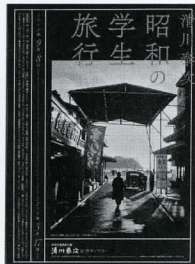
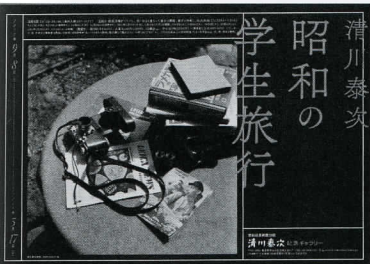
担当者:樋口茉呂奈

清川泰次は、画家として活動する一方で、学生時代には写真部に所属するなど、写真にも強い関心を持っていた。清川がライカなどのカメラを手に、家族や友人、日本各地の風景を撮影した写真は、数千点にもぼる。清川の写真は、あくまでアマチュアとして撮影されたものだが、昭和の人々や風景が美しく切り取られ、旅行中の写真には、今も観光スポットとして知られる各地の、昭和10年代の様子をみることができる。

また、清川は旅行を終える度に旅先で撮影した写真を自ら現像し、丁寧にアルバムにまとめていた。これらのアルバムには、旅の思い出に加え、カメラやレンズの使い心地についての覚書が記されている。

本展では、清川が学生時代に日光や鎌倉などの旅先で撮影したモノクロ写真19点とアルバムを展示し、画家を志す以前の若き清川がとらえた、美しい昭和の風景を紹介した。

展示風景(撮影:上野則宏)



## 出品目録

## 〈大展示室〉

## 写真

No.	作品名	撮影年(和暦)
1	不詳	1940(昭和15)

## 日光の旅

2	不詳(華厳の滝)	1939(昭和14)
3	不詳	1939(昭和14)
4	不詳(日光駅)	1939(昭和14)
5	不詳	1939(昭和14)

## 奈良の旅

6	不詳	1941(昭和16)
7	鏡地に映る東大寺大仏殿	1941(昭和16)
8	春日神社へのみち	1941(昭和16)
9	南大門	1941(昭和16)
10	二月堂にて	1941(昭和16)

## 鎌倉・江ノ島の旅

11	西日の片瀬江ノ島よりの江ノ島	1938(昭和13)
12	不詳	1938(昭和13)
13	小駅寸景	1938(昭和13)
14	不詳(鎌倉大仏)	1938(昭和13)

## 伊豆の旅

15	静浦海岸を船は走る。富士が見える。	1940(昭和15)
16	不詳	1940(昭和15)

## 大磯の旅

17	光への途	1938(昭和13)
18	海の香	1938(昭和13)
19	漁夫	1938(昭和13)

## 絵画

No.	作品名	制作年	材質、技法	縦×横(cm)
1	ベガス	1947	カンヴァス、油彩	32.0×41.0
2	アメリカ作品 小品12点のうち①	1951	カンヴァス、油彩	43.0×55.0
3	不詳(港)	1955-56	カンヴァス、油彩	33.0×53.0

## 〈小展示室〉

4	Painting No.1294	1994	カンヴァス、アクリル	15.8×22.7
5	Painting No.795	1995	カンヴァス、アクリル	15.8×22.7
6	Painting No.2896	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8
7	Painting No.797	1997	カンヴァス、アクリル	22.7×15.8

## 資料

- 1 アルバム No.21『相州に遊ぶ 第4巻』1938(昭和13)年
- 2 アルバム No.23『相州に遊ぶ 第6巻』1938(昭和13)年
- 3 アルバム No.36『ライカスタイル』1940(昭和15)年
- 4 アルバム No.40『修善寺旅行』1940(昭和15)年
- 5 アルバム No.44『奈良の旅』1941(昭和16)年

\*写真は、オリジナルフィルムをデジタル化し、プリントしたものを展示した。  
\*本展では、アルバムにキャプションの記載がある写真についてはタイトルを( )内に記し、記載のないものは、「不詳」としたうえで、判明しているもののみ撮影地を( )内に記した。

## 関連企画

10月13日(土)、2019年1月19日(土) 各日11:00-

担当学芸員によるギャラリートーク

講師:樋口茉呂奈(当館学芸員)

参加者数:10月13日5人、1月19日5人